

令和3年9月15日

シルバーだより第49号 ①

豊かな経験と能力を地域社会に



令和3年9月15日 第49号



公益社団法人会津坂下地方広域シルバー人材センター

〒969-6553 福島県河沼郡会津坂下町字石田 1515 番地の 8

TEL (0242) 83 - 0199

FAX (0242) 83 - 0221

ホームページ <https://bange-sjc.jp/>

シルバーの日 10月15日(金) 午前9時30分 中央公民館前

会員数(令和3年8月31日現在) 男性128名 女性50名 合計178名

理事長挨拶

春日 芳 則



会員の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

この度の定時総会及び臨時理事会におきまして、会員並びに理事の皆様のご賛同をいただき、2期目となる理事長を拝命させていただきました。心より感謝申し上げます。

さて、当センターは平成4年に会津坂下町シルバー人材センターとして設立され、平成27年には湯川村が統合し、公益社団法人会津坂下地方広域シルバー人材センターとなり、通算29年目を迎えました。この間、関係者の皆様のご努力により着実な発展を遂げてまいりましたが、ここ数年、雇用延長や公共機関の受注減少などにより、会員・就労状況の減少が続いております。さらにはいまだに終息を見ない新型コロナウイルスの影響もあり、様々な受注にも反映している状態です。

このように当センターを取り巻く情勢は多岐にわたり課題が山積しておりますが、新しい執行体制のもと、センターとしての責務を果たすべく取り組んでいく所存です。会員の皆様には健康維持と安全就業にご留意され、益々の活躍をお願いし、就任のあいさつといたします。

令和3年度 定時総会開催される

6月11日（金）道の駅あいづ湯川・会津坂下において新型コロナウイルスによる、3密を避けての開催となり、会員総数180名中、出席者31名、表決委任者111名、計142名により開催されました。来賓祝辞は省略され、議長に広瀬地区の二瓶庄一さん、議事録署名人に広瀬地区の稲村静夫さん、坂下地区の小林寿子さんが選出されました。会議に先立ち「優良会員の表彰」（在籍20年2名・在籍10年10名）が受賞されました。議案第4号役員の選任で、新役員が決まりました。



優良会員の表彰



議長 二瓶庄一さん

優良会員表彰者名簿（敬称略）

在籍20年	田村 一（新栄町）
	武藤ミサヲ（古坂下）
在籍10年	渡部かよ子（柳町）
	山内 保夫（本町）
	鈴木 恭二（牛沢）
	松本 清一（履形）
	三澤 勇（金上）
	中島 健治（三谷）
	慶徳 孝（立川）
	青山 豊子（大上）
	飯塚 正人（杉）
	中村 敏昭（窪倉）

理事長・理事・監事・事務局の紹介



理事長	春日 芳 則
副理事長	渡 部 吉 栄
常務理事	木 村 栄 一
理 事	讃 岐 康 徳
//	後 藤 ミ ネ 子
//	小 久 保 誠 一
//	渡 部 宗
//	飯 塚 富 夫
//	加 藤 善 教
//	鈴 木 佐 代 子
監 事	佐 藤 兵 市
//	板 橋 裕 衛
顧 問	池 田 忠 一
事務局長（兼）	木 村 栄 一
管理担当	渡 部 静 香
業務担当	山 内 義 仁
//	佐 藤 純 枝

会員互助会総会開催される

互助会新役員名簿

定時総会に引き続き開催され、議長に広瀬地区の中島健治さんを選出し議案第1号から議案第5号まで全議案可決承認されました。 なお、議案第5号の役員選任では新役員が選任されました。	職名	氏 名	住 所	職名	氏 名	住 所
	会長	春日芳則	御池田	幹事	小林直子	湯川・北田
	副会長	讃岐康徳	青津	//	武藤健助	中政所
	//	小林寿子	新富町	//	真保チヨエ	柳町
	幹事	石田文好	新村			
	//	大島 浩	朝立	監事	風間幸一郎	水島
	//	松本清一	履形	//	矢島ひさえ	緑町

令和3年度賛助会員ご紹介

番号	団 体 名	番号	団 体 名	番号	団 体 名
1	有限会社 広木薬局	4	会津菱農株式会社	7	会津坂下町商工会
2	会津よつば農業協同組合	5	会津坂下町社会福祉協議会	8	特別養護老人ホーム 会津寿楽荘
3	株式会社 ヤマト光学	6	(株)JA 会津よつば総合サービス	9	株式会社湯川会津坂下 (道の駅)

各委員会の委員長等と年間計画について

安全適正就業委員会



委員長 小久保誠一 副委員長 渡部 宗
 委 員 大島 浩 中島健治 塩原 亨 五十嵐信子 田部正利
 加藤真理子 木村栄一 事務局 山内義仁

年間計画

- ・安全パトロールの実施
- ・安全・適正就業推進大会の開催
- ・セーフティーチャレンジの参加

就業開拓委員会



委員長 江花一衛 副委員長 讃岐康德
 委 員 鈴木佐代子 鈴木 亮 飯塚千代子 山内保夫

年間計画

- 事務局 佐藤純枝
- ・就業開拓推進のため企業や家庭等を訪問
 - ・会員 1 人ひとりの就業機会の確保推進

普及啓発委員会



委員長 菅 信夫 副委員長 板橋裕衛
 委 員 飯塚富夫 後藤ミネ子 桑原 久 佐藤吉之

年間計画

- 事務局 佐藤純枝
- ・シルバーだよりの発行（年 2 回）
 - ・シルバーの日の啓発活動

交流研修・ 技能開発委員会



委員長 井関光則 副委員長 加藤善教
 委 員 渡部吉栄 佐藤勝美 五十嵐義徳 中村幸夫

年間計画

- 事務局 渡部静香
- ・各種講習会
 - ・互助会との共催による交流研修の実施

福島県シルバー人材センター連合会 会津坂下地方広域事業所

マッチング支援員
飯塚 正治



6 月 1 日から「マッチング支援員」として辞令をいただきました。
 就業を希望されている高齢者の方々と触れ合いの場を多くし、希望にあった就業先の開拓や就業相談をさせていただきます。
 そして、就業をとおして生きがいと地域社会に貢献し、充実した生活を楽しんでいただけるよう支援させていただきたいと思ひます。
 ご意見・ご協力をお願い申し上げます。

地域班の役員が決まりました



令和3年、4年度の2年間にわたり活躍されます地域班の役員が決まりました。役員の方々には、センターからの文書配布をはじめ、各種連絡事項や会員各位の要望、新規会員の加入促進、就業機会の紹介などお願いする事になります。センターと会員及び地域のパイプ役としてよろしくお願いいたします。

班 名	担 当 区 域	役 職	氏 名	町 内
坂下第1地区	古坂下・上町・桜木町	班 長	大 堀 一 仁	古坂下
		副班長	杉 原 行 雄	古坂下
		庶 務	新井田美奈子	古坂下
坂下第2地区	緑町・本町・橋本 仲町・小原・新栄町 茶屋町・柳町	班 長	佐 藤 博 志	茶屋町
		副班長	菅 井 二二雄	茶屋町
		庶 務	斎 藤 順 子	橋 本
坂下第3地区	諏訪町・鉄砲町 新町・新富町	班 長	川 島 佐代子	新富町
		副班長	二 瓶 忠 男	鉄砲町
		庶 務	和泉田 真澄	新 町
若宮地区	全 地 区	班 長	小 林 邦 正	羽 林
		副班長	青 山 和 雄	中 村
		庶 務	荒 井 一 巳	大 村
金上地区	全 地 区	班 長	佐 藤 忠 甲	上開津
		副班長	三 澤 勇	金 上
広瀬地区	全 地 区	班 長	斎 藤 新 野	御池田
		副班長	赤 井 明	青 木
		庶 務	斎 藤 功 子	中政所
川西地区	全 地 区	班 長	永 山 強	長 井
		副班長	齋 藤 秀 一	見 明
八幡・高寺地区	全 地 区	班 長	平 野 敏 二	気多宮
		副班長	赤 城 時 江	片 門
		庶 務	佐 瀬 善 一	新 舘
湯川地区	全 地 区	班 長	田 部 正 利	佐 野

～会員から会員へつなぐ

今回は鉄砲町の

山内征伴さんです。



私は、シルバー人材センターを知り、会員になりました。

坂下第二中学校の給食用務員を三年程、役場の用務員を十年程になります。

会員皆さん、家族に支えられて現在に至っております。

十年前の東日本大震災、昨年から世界中のコロナ禍、国内はオリンピック、パラリンピックと色々な事を体験し、また見聞しました。

最近体も痛みますが、自愛して暮らして生きたいと思うこの頃です。

どうか会員の皆様、そしてシルバー人材センターの発展を願っています。

次回は、賀川武（御池田）さんです。

新入会員紹介（令和3年1月から8月まで）

氏名	地区名	氏名	地区名
福地秀一	新町	二瓶忠男	鉄砲町
小林俊美	沖	牧野保治	塔寺
赤城九一	新富町	伊藤淳一	桜木町
蓮沼マリ子	金上	荒井一巳	大村
傘木政男	古坂下	安部紀子	茶屋町
小林しづ子	塔寺	荒堀時男	塔寺
兼子康夫	湯川・中扇田	板橋金一	五香

新入会員となって

安部 紀子（茶屋町）



3月末に北海道から主人の転職により、会津坂下町に引っ越してきて5月に入会しました。

北海道では、千歳シルバー人材センターに入会しボウリング場の早朝清掃をやってました。

出身は横浜ですので、ここ坂下町の土地勘もなく知り合いもいないので、先輩の方々に色々（方言も）教えていただきながら、何事にも感謝を忘れず笑顔で楽しく仕事をしたいと思います。

【職員異動のお知らせ】

◆新任 山内義仁（業務担当）

◆マッチング支援員 飯塚正治

シルバー発展に頑張りますのでよろしくお願い致します。



「令和3年度会費」未納の方は至急事務局に納めて下さい。

・会費	1,000円
・互助会費	1,000円
・保険料	2,000円
計	4,000円

編集後記

一年遅れのオリンピックも終わりパラリンピックが開催される。

コロナ禍で世界の人々が苦難の生活を強いられている。

感染を防止する為には、やはり三密をさけワクチン接種、生活様式を守りながら自分の命は、自分で守ることが大事である。一日も早い終息を願い、日常の生活を取り戻したいものである。

普及啓発委員 佐藤 吉之